

(別紙1)

事業計画書

(No. 1)

申請者：〇〇市観光協会

ツアー誘致等の目的	バス運賃制度の改定等により、〇〇〇への観光客数の減少が見られることから、新たな誘客想定地域を設定し、集中的な誘客強化を図るため、近隣施設等と連携し、魅力的なバスツアーの設定・誘致を通じ、誘客拡大に取り組む。	
誘致等対象ツアー	新潟の秋満喫ツアー（仮）	
ツアー催行者 (旅行業登録者名)	〇〇交通株式会社（予定）	
発着地等	〇〇県〇×市、××市	
ツアー種別	県内発着 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 県外発着	<input checked="" type="checkbox"/> 日帰り ・ 1泊2日 ・ 2泊以上
ツアー参加費	9,980円～11,800円	
立ち寄り 観光施設	(可能な限り、詳細を記載すること) 昼食場所：△▲鮮魚センター 立寄施設：①〇〇山ロープウェイ（秋の紅葉鑑賞） ②□□オープンファクトリー（金属加工体験） ③〇×▲ライトアップ（温泉入浴及び食事）	
独自の 追加誘客策	①参加者プレゼント（お土産）の配布 ②買物割引券の配布 ③昼食時に料理1品を追加	
立ち寄り観光 施設との連携	①ツアー誘致を共同で働きかけ ②共通割引券の作成・配布 ③買物スタンプラリーの実施	
催行時期等	平成28年11月～平成29年2月 各月2回（合計10回）	
催行台数、 誘客見込み数	バス10台（各回1台）、35人×10台＝350人	
補助申請額	バス10台×補助額@30,000円＝ 300,000円	

※誘致等を行う対象ツアー毎に作成し、チェックシートを添付すること。

県内周遊観光促進事業補助金 補助対象ツアー要件 チェックシート

(No. 1 (事業計画書と同じ番号とすること))

申請者: ○○市観光協会

項目	ツアー種別	要件該当説明 (事業計画書毎に作成すること)
	(2)	
基本要件	県内昼食に加え、観光施設に2カ所以上立ち寄ること	○ 昼食場所: 1日目: 新潟ふるさと村、2日目: 寺泊魚の市場通り 立寄施設: 1日目: 芸妓プラン、せんべい王国、北方文化博物館、 2日目: イングリッシュガーデン、ストックバスターズ、弥彦山ロープウェイ
	宿泊を伴う場合は、県内宿泊とし、各日とも上記を満たすこと	○ 瀬波温泉○○旅館
	立ち寄り先の観光施設等と連携し、独自の誘客策を実施すること	○ 割引券の配布、おもてなし企画の実施、お土産追加
	バス1台当たり25名以上乗車(乗務員・添乗員等除く)	○ 30名催行を想定
	バス1台当たり15名以上乗車(乗務員・添乗員等除く)	—
	国、県、市町村、観光協会の補助事業や助成金等の対象となっていないこと	○ 助成は受けていない。
審査基準	新たに造成したツアーの場合	○ ふるさと村、○○旅館と連携し、新たなバスツアーの誘致セールスを実施
	新たな地域から誘客するツアーの場合	×
	地域観光協会の受入企画等を活用した場合	○ ○○市観光協会の体験プランを盛りこんだ。
	日帰り片道250キロ以上のツアーの場合	—
	県内まで新幹線、航空機で移動するツアーの場合	○ 長岡駅まで新幹線を利用
	県内宿泊を伴うツアーの場合	○ 瀬波温泉○○旅館
	佐渡、若しくは県内3エリア以上を周遊する場合	○ 新潟・阿賀、村上・新発田、長岡・柏崎、弥彦・三条
	期間中、8本以上催行される場合	—

【審査基準】

原則として交付決定に当たっては、上記の基本要件、審査基準の充足状況を確認し、審査基準を多く満たしている申請から、予算の範囲内で順次、交付決定を行う。
 ※県内エリアは、村上・新発田、新潟・阿賀、弥彦・三条、長岡・柏崎、湯沢・魚沼、妙高・上越、佐渡の7エリアとする。

(別紙2)

事業実施結果報告書

(No. 1)

申請者：〇〇市観光協会

誘致等対象ツアー	新潟の秋満喫ツアー																										
ツアー催行者 (旅行業登録者名)	〇〇交通株式会社																										
発着地等	〇〇県〇×市、××市																										
ツアー種別	県内発着 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 県外発着		<input checked="" type="checkbox"/> 日帰り ・ 1泊2日 ・ 2泊以上																								
ツアー参加費	9,980円～11,800円																										
立ち寄り 観光施設等 の状況	昼食場所：△▲鮮魚センター 立寄施設：①〇〇山ロープウェイ（秋の紅葉鑑賞） ②□□オープンファクトリー（金属加工体験） ③〇×▲ライトアップ（温泉入浴及び食事）																										
独自の 追加誘客策	①参加者プレゼント（お土産）の配布 ②買物割引券の配布 ③昼食時に料理1品を追加																										
立ち寄り観光 施設との連携	①ツアー誘致を共同で働きかけ ②共通割引券の作成・配布 ③買物スタンプラリーの実施																										
催行の状況	<table border="1"><thead><tr><th>催行日</th><th>11/2</th><th>11/9</th><th>12/10</th><th>1/19</th><th>2/20</th><th>(合計)</th></tr></thead><tbody><tr><td>台数</td><td>2台</td><td>1台</td><td>2台</td><td>2台</td><td>3台</td><td>10台</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>81人</td><td>118人</td><td>79人</td><td>76人</td><td>39人</td><td>393人</td></tr></tbody></table>						催行日	11/2	11/9	12/10	1/19	2/20	(合計)	台数	2台	1台	2台	2台	3台	10台	参加者数	81人	118人	79人	76人	39人	393人
催行日	11/2	11/9	12/10	1/19	2/20	(合計)																					
台数	2台	1台	2台	2台	3台	10台																					
参加者数	81人	118人	79人	76人	39人	393人																					
ツアー実施の 評価・課題	他の観光施設と連携してバスツアーの誘致を働きかけた結果、魅力的なツアーとなり、多くの観光客の誘客が実現できた。 一方で、ツアー参加者の満足度を高めるため、各観光施設への立ち寄り時にもてなし企画等を実施することも検討すべきだったことから、今後は、改善を図っていきたい。																										
今後の 方向性・展開案	今回のバスツアー誘致に連携して取り組んだ枠組みを活用し、他の地域からのバスツアー誘致にも取り組むことで、誘客地域の拡大を図りたい。 また、共通割引券等の充実等にも取り組むことで、立ち寄り施設間の連携を強化していきたい。																										

(別紙3)

平成 年 月 日

(申請者)

名 称 〇〇市観光協会

代表者氏名 会長 〇〇〇 〇 様

(ツアー催行者)

名 称 〇〇交通株式会社

代表者氏名 代表取締役 〇〇 〇 印

バスツアー催行状況報告 兼 請求書

〇ツアー催行状況

催行台数： 10 台

参加者数： 393 人

(内訳)

催行日	11/2	11/9	12/10	1/19	2/20	(合計)
台 数	2 台	1 台	2 台	2 台	3 台	10 台
参加者数	81 人	118 人	79 人	76 人	39 人	393 人

〇バス運行にかかる請求額：

催行台数 (10 台) × 30,000円 = 金 300,000 円